

タンジュンプリオク港緊急リハビリ事業【インドネシア】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 26 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インドネシア
(2) 案件名	タンジュンプリオク港緊急リハビリ事業
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	タンジュンプリオク港において航路拡幅, 浚渫等の改良を行うことにより, 船舶交通の効率化を図り, 今後の需要増大に対応するもの。 案件の内容 ・ 土木工事 ・ コンサルティングサービス ア 閣議決定日 : 平成 16 年 3 月 30 日 イ 供与限度額 : 120.52 億円 ウ 金利 : 1.3% エ 償還 (据置) 期間 : 30 (10) 年 オ 調達条件 : 一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会的ニーズの現状 事業計画当初, タンジュンプリオク港のコンテナ取扱量は平成 18 年に容量限界 (300 万 TEU) を超す見込みであった。各ターミナルによる拡張工事や荷役機器の増強等により取扱能力を上げたものの, 近年のジャカルタ首都圏の著しい経済成長により, 今後, 現況の取扱能力をはるかに超えると予測されており, 本事業に関する社会的ニーズは引き続き大きい。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 コンサルタント選定手続き及び本体コントラクター選定手続きにおいて, 再入札, 実施機関の内部手続きの遅れ等に

	より遅延が発生したが、現在、事業は順調に進められている。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズは引き続き大きく、事業遅延の要因は解消され、また、事業完成後は当初の見込み通りの効果が予測されることから、引き続き支援を継続していく。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anken/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ その他国際協力機構から提出された資料